

至北九州市

北九州市

小波瀬 西工大前

行橋

行橋IC

今川

今川スマートIC

美夜古泉

今川河童

行橋市 YUKUHASHI

南行橋

新田原

みやこ豊津IC

豊津

新豊津

至田川市

至中津市

築上町

みやこ町

市の花コスモス

こすもっぺ花火大会

ゆくはしビーチバレーボールフェスタ

豊前海一粒かき

ゆくはしシーサイドハーフマラソン

いさご

長井浜公園イメージ図(整備中)

図書館等複合施設イメージ図(建設中)

馬場と菜の花

行橋市を もっと知りたい! あなたへ!

ゆくはし 行橋市観光ポータルサイト

遊ぶ 食べる 観る 買う 泊まる みんなの投稿

行橋市観光ポータルサイト「ゆくはし」
http://yukuhashi-kankou.jp/

行橋市 HP

行橋市 ふるさと応援寄付サイト

YUKUHASHI Report



温泉家・北出恭子が案内する、ゆくはし移住レポート!

行橋市の人口、
増えている、って知ってた?!

「ふるさと行橋市の人口が増え続けている!」

「住みやすさの総合力もバグンらしいよ!」

という嬉しいニュースが飛び込んできました。

その秘密や住みやすさのポイントは一体何なのか?

温泉家の目線で調べてみました!

Convenience of transportation

都心の小倉から

特急15分で着いた。



PROFIRE

温泉家 北出 恭子さん (Kyoko Kitade)

小・中・高校生時代を行橋市で過ごす。18歳からフリーランスで、数々のテレビ・ラジオ番組でMCに抜擢。現在は東京を拠点に温泉タレントとして各局でレギュラー出演中。その傍ら、日本や海外の温泉をプライベートで巡り年間入湯数は300以上。日本温泉気候物理医学会会員、九州温泉道選定委員。温泉ソムリエ、温泉入浴指導員(厚生労働大臣認定)など12の温泉関連の資格をもつ。その知識と経験を生かし、温泉セミナー講師やイベント出演、温泉専門ライター、大学非常勤講師など多方面で活躍中。女性目線での温泉プロデューサーとして温浴施設の監修や、行政・自治体の地域創生をサポート。スプリングラボ合同会社 CEO。書籍「九州絶品温泉、どこ行こ?」を全国出版。

PHOTO >>> JR行橋駅

Report 01 ● 交通の利便性 / JR・空港・高速

特急なら小倉へ15分、博多へ1時間。どこでもドアtoドアで、休日は温泉県へ。

小倉から特急で15分、あっという間に行橋駅に到着。こんなに近いなら通勤や通学にも便利だろうなあ。休日には博多でショッピング、大分で温泉三昧もいよいよね。



全国を巡る温泉家として、まず気になるのは「交通アクセス」。働く人や通学するお子さんにとっても、交通の利便性は大事なチェックポイントですね。まずはJR行橋駅長の保明勝浩さんにお話を伺いました。

「行橋から特急なら15分で小倉に着きます。特急料金も安いので、通勤や買い物、レジャーなどに気軽にご利用いただいています」

なるほど、行橋市民の皆さんは日常的に特急を使っているようです。そういえば、私の幼なじみも「仕事が終わって小倉に遊びに行っても、特急が23時台まであるから安心♪」なんて言ってたっけ。さらに駅周辺をよく見ると、駐車場も多いけど駐輪場や自転車預かり所の看板を発見!もしかして…

「はい。自転車や自家用車で駅まで来て列車に乗り継ぐ、パーク&ライドで通勤・通学する方も多いですね」と保明さん。渋滞にも巻き込まれず、エコでスマートな交通手段は、移住の大きな決め手と言えるでしょう。さらに特急を使えば博多はもちろん、すぐお隣の別府や大分方面にも1時間ちょっとで行けちゃいます。

「2015年にオープンしたJRおおいたシティ(大分駅ビル)内には、グルメやショッピングスポットだけでなく、映画館や温浴施設などもあるので、丸一日楽しめますよ」と聞けばテンションMAX! 行橋から特急で1時間ちょっとなので休日の楽しみにも事欠きませんね。

さて、もう一つ、2016年に全線開通した東九州自動車道も見逃しません。開通によって、大分や宮崎、鹿児島など九州一円がグッと身近に。行橋市内には「行橋IC」と「今川PA/スマートIC」の2カ所にインターチェンジがあり、市民の足を支えています。

さらに、羽田行きや韓国路線が充実する北九州空港までは、車でなんと約20分!早朝や深夜便を活用して東京日帰り旅行を楽しみたい人や、出張が多い人にとっては理想的な好アクセスです。九州はもちろん、関西、関東、どこでもドアtoドアで往き来できる行橋市。お話を聞くうちに、何だかもうこの街で暮らしたくなってきました。

CHECK POINT!

移住チェックポイント!

行橋 ⇄ 小倉のJR移動
普通(約30分) 460円(乗車券)
特急(約15分) + 300円(自由席特急券)

行橋 ⇄ 博多のJR移動
特急(約1時間) 2,750円(乗車券+自由席特急券)
特急+新幹線 2,980円(乗車券+自由席特急券)

行橋 ⇄ 別府のJR移動
特急(約1時間) 2,750円(乗車券+自由席特急券)

行橋 ⇄ 大分のJR移動
特急(約1時間10分) 3,360円(乗車券+自由席特急券)

特急は1時間に平均約2本!

Diversity of housing

駅近 マンションも夢じゃない!?
行橋市の地価が安くてびっくり!

Report 02 ● 住まいの多様性 / 戸建て・マンション・賃貸

憧れのマイホームやマンションなど、
家族スタイルに合わせて選べる住まい。

移住となれば、やっぱり聞きたい住まいのこと。
行橋市は地価が安くて、庭付きの一戸建てやマンションなど
マイホームの夢も叶えやすいんだって。いいなあ。



駅に近い
マンションは
人気ですよ!



子育てするなら
庭付きマイホームも
いいですね!



久しぶりに訪れた行橋市。区画整理事業で美しく整備された駅西口エリアには、新しいマンションがいくつも立ち並んでいてびっくり。移住の住まい探しについて、市役所の増田恵さんに教えてもらいました。「行橋駅は1999年に駅の高架化工事が完成して20年、街の東西の行き来がしやすくなり、西口エリアの開発も進みました。今では駅から歩いて5分圏内に新しいマンションがいくつもできて、働き盛りで通勤の利便性を重視する若い世代の方々に人気です」

たしかに、JR行橋駅から特急や新幹線を利用すれば、北九州市や福岡市内もスマートに通勤できる距離。駅近マンションなんて、都心ではなかなか叶えられない贅沢です。

「行橋駅から10～15分の徒歩圏内にも宅地があり、少し広めの庭付き一戸建ての夢を実現」という方も。賃貸も含め、家族やライフスタイルに応じてさまざまな住環境から選べます」と増田さん。郊外のマイホーム、なんて素敵な響き!お子さんをのびのび安心して

育てたいファミリー層にとっては、それもまた嬉しい選択肢です。お話を伺いながらふと見上げると、空が広いことに気づきました。歩道や車道もゆとりがあって、まるで大きな露天風呂で両手を広げてリラックスしている時のような気分に。

少し足をのばせば海もあるし山もある。豊かな自然も魅力です。桜の季節には今川沿いのサイクリングロードを散策しても癒されますね。空間的にも時間的にもゆったりとしたこの街は、住んでみるとかけがえのないその豊かさを実感していただけたと思います」

聞けば自然災害も少なく、温暖な瀬戸内海式気候で、一年を通して過ごしやすいか。さらに地元で獲れた食べ物も美味しく、物価も安く、飲食店や日常の買い物など生活環境も整っていることなし。東口エリアでは、「行橋市図書館等複合施設」の建設や「行橋駅前通りの拡幅事業」など今後も開発が進む予定で、将来性も期待されています。

CHECK POINT!

移住チェックポイント!

周辺市町村で比べてみました。
住宅地平均地価チェック!

小倉北区	65,300円/㎡
小倉南区	53,200円/㎡
門司区	48,500円/㎡
荻田町	34,700円/㎡

行橋市は小倉都心部のなんと1/2! /

行橋市 33,700円/㎡

平成30年地価公示の概要より

行橋市役所 総務部 総合政策課
増田恵さん (Megumi Masuda)

Diversity of employment

民間企業や商業施設も多いため、
仕事やパート探しも安心ですね！



行橋市役所 産業振興部 企業立地課
今井 陽介さん (Yosuke Imai)

PHOTO 》》 市内工業団地

Report 03 ●雇用の多様性 / 正社員・パート・マザーズ

移住は働き方や人生を考えるチャンス！
通勤圏内には大手企業もあちこちに。

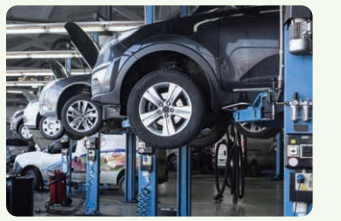
駅よし、住まいよし！では、行橋市の雇用はどうでしょう？
街を歩けば、民間企業や大手企業、商業施設もあちこちに。
子育てファミリーを応援する求人も多いと聞いて安心しました。



子育てしながら
パートの道も
探せますね！



通勤圏内には
いろんな企業が
ありますよ！



移住は、自分自身の働き方や仕事などをじっくり考えるチャンスでもあります。今は働き方も多種多様な時代。まずは行橋市役所の今井さんに市内にある企業や商業施設などを案内してもらいました。

「行橋市には、産業用電気機器の大手企業や、精密機械の製造・加工業、自動車製造業の関連部品工場などが散見しています。また近年は、『ゆめタウン』など複合型の商業施設や大手チェーン店の出店も相次いでおり、30代～40代の働き盛りの世代にとっては、雇用のすそ野は広いと思います」と今井さん。JR行橋駅は通勤にも便利なので、北九州市や福岡市、苅田町や豊前市など、広域が通勤圏内になるのも魅力なんだそう。これなら幅広い選択肢から希望する仕事も見つかりそうです。

「具体的な求人相談をするなら、ハローワーク行橋へ」ということで尋ねてみると、入口のエントランスには求人票がびっしり。さっそくハローワークのご担当の方にお話を伺いました。

「ここ数年は全国的に求職者に有利な状況が続いています。行橋管内の求人の多い職種としては、医療・介護・保育関連や製造業、運輸業などですが、農業をやってみたい方向けの求人もあります。ハローワークの情報は、全国どこでもインターネットで検索できます。また、子育てしながら働きたいお父さんやお母さんを応援する『マザーズコーナー』も充実しているので、ぜひ活用してほしいですね」

行橋市は、子育て中の方が働きやすい環境づくりへの取り組みも盛ん。子どもの行事や病気の時に配慮してくれる『子育て応援求人』も多く、『マザーズコーナー』では年間200人以上の就職実績があるそうです。

「専任の担当者がマンツーマンで寄り添って、働き方の希望を聞きながら求人情報を提供します。応募書類の書き方や面接での心構えもアドバイスしますし、パソコンやメイクなど就職を支援する無料セミナーも定期的で開催しています」とのこと。市の子育て支援情報も提供しているそうで、女性にとっては心強い存在！仕事探しも安心ですね。

CHECK POINT!

移住チェックポイント!

北九州地域
(小倉・八幡・行橋管内)

有効求人倍率 **1.40**
(平成30年8月)

有効求人倍率は、ハローワークの有効求人数を有効求職者数で割ったもの。平成30年8月のデータは、北九州地域で仕事を求める求職者1人に対して、1.40件の求人があったということになります。

行橋市
ハローワーク
求人情報!

(ハローワーク平成30年8月/北九州地域雇用情報より)

State of the art educational environment

Report 04 ● 最先端の教育環境 / ICT活用・英語教育・冷暖房設備

タブレットや電子黒板をいち早く導入?!

行橋市の小中学校、スゴイ!

行橋市教育委員会 教育部 教育総務課 指導室長
山本 有 一 さん (Yuichi Yamamoto)



PHOTO 》》 行橋小学校

ICT活用や英語教育、冷暖房の完備…
もうはじまっています! 最先端の教育。

情報化&国際社会を背景に、日々進化する子どもたちの教育。
「行橋市ではいち早く最先端の環境づくりに取り組んでいる」
と聞いて、さっそく小中学校を見学させていただきました。

子育てファミリーにとって、教育環境も気になる場所。酷暑が続く近年では、子どもたちの健康面が心配という方も多いでしょう。実は市内の公立小中学校では、2014年度から教室の冷暖房完備に取り組み、2019年度にはすべての学校で完了するのだそうです。これは嬉しいですね。そのほかの取り組みについてもお話を伺いました。

「行橋市では、教育のICT(情報通信技術)環境整備にも全国に先駆けて取り組み、2019年度までにタブレットや電子黒板、無線LAN環境、校務支援システムを全小中学校で導入するに なっています」と教えてくださったのは、指導室長の山本有 一 さん。すでにモデル校では実際の授業に取り入れており、子どもたちはしっかり使いこなしていました。

「目的の一つは、楽しく分かりやすい授業づくりです。もう一つは、教職員の業務の効率化。これによって時間にゆとりが生まれれば、その分、子どもたちとゆっくり話ができたり、休み時間に一緒に遊んだり。より深い関係性づくりができるのでは、と期待しています」

2020年からはじまる小学校「外国語科」に向けても早くから取り組んできたそうで、15年以上前からALT(外国語指導助手)を活用。このほか小学生夏休み英語教室や中学生英語宿泊体験、姉妹校提携をしているニューヨークの学校との中学生国際交流事業(ホームステイ)などを通して、子どもたちが英語と触れあうチャンスを広げてきました。さらに移行期の2018年度は、小学3-4年生に年間25時間、5-6年生に60時間の英語活動を実施。教職員の研修も充実させ、準備を整えているそうです。

「行橋市には海や山、田んぼなど豊かな自然があり、子どもたちがのびのび元気に育っていく環境が整っています。あとは将来、自立できる力をいかに育むか。これからますます多様化する社会でさまざまな困難に出合った時、それを乗り越える力が必要になります。今、教育環境を充実していくことで、子どもたちが未来を生きぬく力を育む一助になればと思っています」という山本さんの言葉が胸に響きました。



タブレットで授業の可能性も広がります!



みんな使いこなしていてスゴイですね!



CHECK POINT!

移住チェックポイント!

行橋市の公立小学校 11校
公立中学校 6校

全校冷暖房完備
2019年11月に完了予定

タブレット・電子黒板・校務支援システム
2019年度に導入完了

タブレットは全教職員1人1台、小学校では2人に1台、中学校は1.6人に1台使用できる台数を完備。

Citizen's good health and secure life

市民の健康と笑顔を守る街。

みんなが安心! ゆくはし移住バンザイ!



Report 05 ● 市民の健康と安心 / 医療・病児病後児保育・介護支援

病児病後児保育や医療・介護体制が充実。子どもを産み&育てたくなる街。

子育て支援はもちろん、医療や介護体制が充実した行橋市。もしもの時の救急医療や子育て世代に嬉しいサポート体制も、時代に先駆けて整えてきたそうです。これは心強いですね!

まだまだあります! 行橋市の移住ポイント。一つは医療機関が充実していること。市内には、産婦人科や小児科が充実しているほか、民間の救急指定病院や、近隣エリアもカバーする「行橋京都休日・夜間急患センター」があり、もしもの時にも安心できる体制が整っています。

「この急患センターの2階には、『行橋京都病児病後児保育室“アンファン”』という施設があり、年々利用者が増えています」と教えてくれたのは、福祉部子ども支援課の吉本康一さん。これは、病気やケガの治療中または病後のお子さん(生後4カ月～小学6年生)を対象に、保育所などでの集団保育が難しい場合に預かってくれる施設。体力回復までを看護師と保育士が連携してサポートしてくれるほか、地元の医師による回診体制も整っているそうです。たとえば、インフルエンザなどの感染症で「熱はさがったけど保育所にはまだ行けないし、仕事あまり休めない」という共働きのご家庭にとっては心強い存在。子育てしながら安心して働けるきめ細やかなサービスがあるって

心強いですね。

このほか、妊娠・出産・子育て期にわたって支援してくれる「子育て世代包括支援センター“すく♡すく”」や、子育てアプリなどもあり、手厚い支援体制にはびっくり。さまざまな情報は「行橋市子育て情報ポータルサイト“すくすくゆくはし”」にまとめられているので、ぜひチェックしてみてください!

もう一つのポイントは、介護や療養型病院など高齢者に関する施設や制度も整っている点。住み慣れた行橋でいつまでも元気に暮らしてもらうため、施設の充実と介護予防プログラムの二本柱に取り組んできたそうです。高齢者の方が積極的かつ自発的に参加できるプログラムを、時代に先駆けて取り入れたり、登録ステッカーや先進のGPSなどを使って高齢者の徘徊トラブルを未然に防ぐための仕組みも構築されている、と聞いて、親御さんの介護に頑張っている友人にも教えたくなりました。



安心、快適、アートも香る街
行橋に住もうかな。

いろいろお話を伺いながら、行橋を旅するように歩いてみて、もう一つ気づいたのが街のあちこちに彫刻がたくさん点在していること!実はこれ、世界で活躍する彫刻家たちがアーティストインレジデンス(アーティストが街に滞在して作品を作ること)で制作したオブジェたち。何気ない日常の風景に溶けこむ彫刻と、ふれあいながら街歩きできるって素敵ですね。

交通の拠点があり、駅の東西交通の風通しもよく、土地が広くて地価も安い。動きやすく、子育てしやすく、高齢者にもやさしく、そしてアートも香る街。行橋市の人口が増えている理由が、パッチリ納得できました。

暮らしやすさ
バグン!
いいよね、行橋!

